

新しき平和の年に

# New year 2015 Consert

T u s j i 辻 幹雄 M i k i o  
2つのギター 名器のひびき

6弦ギター  
バルベロ・イーホ 製作  
(1986年 スペイン)

&

11弦ギター  
G. ボリーン 製作  
(1991年 スウェーデン)

2015年1月25日(日) 午後2時 開演

Cafe プレイエル 喫茶ホール

3,500円 要予約 (30名様限定)

お問合せ・お申込み

TEL 0263-92-8158

カフェプレイエル&ギャラリーやましる



## program

- ・ アランフェス協奏曲よりAdagio J. ロドリゴ
- ・ アルハンブラの思い出 F. タレガ
- ・ 鳥の歌/聖母と御子 カタルーニャ民謡
- ・ 天地転生 辻 幹雄
- ・ 風花 辻 幹雄 他

ギターに込められた  
製作者の魂がある  
叶えたい理想がある  
ギターリストに託された  
夢がある

## 辻 幹雄 プロフィール

辻 幹雄の活動は、作曲・11弦ギターの演奏を中心に多岐におよぶ。

- 1983年 ルネッサンス/リュートの調弦を持つ11弦ギターと出会い、日本初の11弦ギター奏者としての活動を始める。
- 1988年 ソウルオリンピックの開催記念のクラシックギターのフェスティバルに招聘され、世界初の11弦ギターオリジナル曲「組曲 春のゆくへ」を初演。
- 1991年 ニューヨークのカーネギーホールでのリサイタルで、国際的評価を受ける。アメリカ、ヨーロッパなどで活動を展開。Composer-guitaristとして評価される。
- 1994年 成田闘争終結に向け、空港建設反対住民、空港関係者らの協力の中で、成田空港滑走路南側の野外で、「辻 幹雄が奏でる11弦ギターの調べ」を開催。和解に導く。串田孫一の作詩、レクイエム「時は風のように」を作曲・初演。コンサート会場になった空港南側の広場は曲にちなんで『風の歌広場』と命名される。
- 1995年 伊勢神宮で奉納演奏。以来、伊勢修養団道場で18年連続コンサート。「音楽を心から心へ、魂から魂へ」を信念に全国隅々まで自ら音楽を届ける活動を続けている。
- 1996年 チェルノブイリ原発事故後10年、東欧・北欧で鎮魂のコンサートツアーを行う。モスクワ放送やベラルーシ共和国国営放送の特別番組に出演。同時に各音楽大学に招待され、コンサートを開催。
- 2007年 熊野本宮大社の新作神楽の作詩・作曲、プロデュースを行い(振付:清水きよし) 2008年より年次例大祭で毎年奉納される(「熊野」祈り)。世界遺産評価委員会「ICOMOS」に新作神楽が絶賛され、本宮大社よりDVDが発売された。CDは「風の標」「月光の森」「水鏡」「春のゆくへ」「天地転生」「花音」がリリースされている。CMの作曲・演奏は、JAバンク、NTTドコモ東海、「世界の車窓から」等。NHKラジオ「音楽夢倶楽部」の辻 幹雄 特集はラジオジャパンで世界同時放送された。Cafeプレイエルでは 2002、2006、2010、2012年 に続いて5度目のコンサート。

## Georg Bolin 《1912~1993 Sverige》

G.ボリーン 11弦ギター 1991年作

ルネッサンスリュートの調弦と音域をもつ11弦ギター（別名・アルトギター）は、スウェーデンの名工、ゲオロイ・ボリーン(1912-1993)によって開発されました。ルネッサンスやバロック時代のリュート音楽を、より合理的に演奏するために、スウェーデンのギタリスト、ペル・オルフ・ヨンソンの助言のもとに作られたのです。

なかなか製作に応じてくれないという伝説の名工は、私の1通の手紙とCD「風の標」によって道を開いてくれました。

1991年、私の製作依頼を承諾してくれたボリーンは、即座に「風の標」を工房で聴きながら私の音色やタッチ、音楽を考慮して全く新しい11弦ギターを作ってくれたのです。完成後、そのギターにボリーンは「Resono（響き）」と命名しました。

今までにない形状と構造のその11弦ギターは、完成から4年を経て、その音色を徐々に現わしてきたのですが、年ごとに変化を重ねる音色はより深く、23年を経た今でも新たな音色を醸し出しています。

完成後、ストックホルムのボリーンの工房を訪ねた折、「なぜこんな素晴らしいギターを作ることが出来るのですか？」という私の問いに対して、「私は子供の頃から木が大好きだった。木を削ったり、家具を作ったり、いつも木に親しんできた。だから私には木の心がよく分かるんです」と。

楽器にはその製作者の心、理想や未来が込められています。

その楽器が目指す世界があるのです。

ボリーンはこの楽器を作って81歳でその生涯を閉じました。

同じ楽器はこの世に存在せず、世界唯一の11弦ギターとなってしまいました。

奇跡的な音色を醸し出す「Resono」は、これからも我々を未知の世界に誘ってくれることでしょう。

2014. 12. 5

辻 幹雄



## Marcelo Barbero Hijo 《1944~2005 España》

マルセロ・バルベロ・イーホ 1986

近代ギター製作の流れは、アントニオ・デ・トーレス(1817~1892)に始まります。後に、師から弟子へと伝えられてゆくスペインの名工の源流です。ギター最大の巨匠故アンドレス・セゴヴィアがこよなく愛した名器「マヌエル・ラミレス」からサントス・エルナンデス マルセロ・バルベロ(I世) アルカンヘル・エルナンデス マルセロ・バルベロ・イーホ(II世) と続くスペインギター名工の系譜は、深いスペイン魂と妥協を許さぬ作風故に、それぞれが製作したその数は、とても限られたものになっています。

ラミレスがサントスを育て、サントスがバルベロ I世を育て、バルベロが世界最高のギター作家アルカンヘルを育てます。師バルベロが亡くなり、アルカンヘルは自分を育ててくれたバルベロへの感謝の思いから、その子息「バルベロ・イーホ」を後継者に育てようとしています。

そして、マヌエル・ラミレスから引き継いだ最高の材料を使い、アルカンヘル工房で二人の製作が始まりました。

バルベロ I世の血をひくイーホの上達は目覚ましく、師の楽器の製作を助け、世界にアルカンヘルの名を不動のものとししました。そして自らもアルカンヘルのラベルに自分のサインを入れて、自分のギターを製作していったのです。

アルカンヘルの監修のもと、バルベロの作ったギターは、時としてアルカンヘルを凌ぐ程の名器を生み出しました。

そのバルベロも2005年、短い生涯を閉じます。

失意のアルカンヘルは、その年に自らも鑿を置くことを決意しました。

ある日突然、私に託されたギターは、バルベロ・イーホがアルカンヘルのもとで1986年に製作した、正真正銘の名器です。

それは、どこまでも明るく、力強く、深い音色を秘めています。

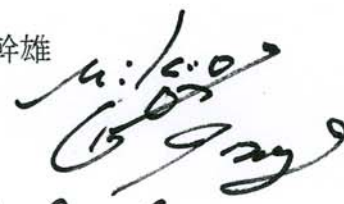
しかし、これらの名工が作ったものは、プロでも尻込みする程に難攻不落、演奏には厳しいものがあります。

練習を重ね、いつか皆様に聴いて頂けるよう、精進して参ります。

スペインの風土はピカソを生み、カザルスを生み、セゴヴィアを生み、そしてこの一連のギター作家を生み出しました。

ギターの故郷、スペインに思いを馳せて。

辻 幹雄

  
2014. 9. 25

# TSUJI MIKIO GUITAR CONCERT

< 2つの名器が奏でる世界 >

## I部 11弦ギターによるオリジナル曲

風の標

MuSuBi

風花

休憩 5分

天地転生

休憩 10分

11弦ギター

G.ボローニョ 1991年作

## II部 6弦ギターによるクラシック

鳥の歌

聖母と御子

アルハンブラの思い出

アランプエス協奏曲より Adagio  
<故 加藤 陽一氏に>

カタロニア民謡

"

F.タレガ

J.ロドリゴ

ピアノ伴奏・竹森 雄太

M.バルベロ・イーホ 1986年作

6弦ギター

2015.1.25  
プレイエル  
part1 pm1:00~

# TSUJI MIKIO GUITAR CONCERT

< 2つの名器が奏でる世界 >

## I部 6弦ギターによるクラシック

鳥の歌

聖母と御子

アラビア風奇想曲

アランプエス協奏曲より Adagio  
<故 加藤 陽一氏に>

カタロニア民謡

"

F.タレガ

J.ロドリゴ

ピアノ伴奏・竹森 雄太

休憩 15分

6弦ギター

M.バルベロ・イーホ 1986年作

## II部 11弦ギターによるオリジナル曲

天地転生

レクイエム

風花

龍神の舞

2015.1.25  
プレイエル  
part2 pm5:00~

11弦ギター

G.ボローニョ 1991年作